

損をしない消費者になろう！ 消費生活センターを利用しよう

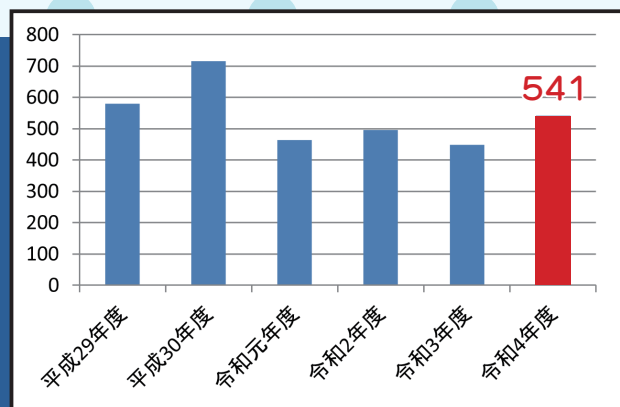
私たちが普段何気なく行っている消費活動には、時折トラブルが潜んでいます。また、そのようなトラブルに巻き込まれたときにどうすればよいか知っていますか？実際に起きたトラブルの事例や相談窓口についてご紹介します。

消費生活センター

☎ 30-6144 FAX 27-0395

彦根市での消費者トラブルは 1 万件超え!?

彦根市では令和 4 年度の相談件数は **541** 件でした。これはトラブル全体のおよそ 4 %とされており、実際には 1 万件以上のトラブルが年間で発生していると推測されます。



被害額は、数千円程度もあれば、1,000 万円を超えるケースもあります。

素直な性格で物事を疑うことのない人はもちろん、「私はだまされない、大丈夫」と思い込んでいる人など、**誰もがトラブルに巻き込まれる可能性があります。**



相談員
長岡

もしトラブルにあったら…

消費生活センターをご利用ください！

Q どんな相談ができるの？

A 架空請求や悪質商法への対処、クーリング・オフの方法、多重債務問題など、**消費生活や契約のトラブルに関する相談ができます。**トラブルになっていない場合でも、契約する前に分からないことや不安なことがあれば、気軽にご相談ください。

Q 相談したらどうなるの？

A 相談内容の聞き取りをして、解決のための助言やトラブルの相手との交渉のお手伝いを行います。より専門的な相談窓口が適している場合には、その内容に合った相談窓口をご紹介しますなど、**トラブル解決のための支援を行います。**

Q 相談するときはどうしたらいいの？

A 広告や申込書（契約書）、インターネット通販に関するご相談の場合は、販売サイトの情報や注文画面など、**契約に関係するものが見られるようにし、起こったことを整理して伝えられるようにしておく、効率的にご相談いただけます。**

お気軽にご相談ください

電話または来所（できるだけ予約をお願いします）

☎ 平日 9:00～12:00、13:00～16:15

☎ 市内在住・在勤・在学

☎ 個人情報（氏名・年齢・居住地・連絡先など）をお聞きします。可能な範囲でご協力願います。

☎ 市役所本庁舎（元町）2 階 消費生活センター（生活環境課内）☎ 30-6144

本当にあった！ 怖い消費者トラブル

彦根市でも実際に起きている消費者トラブルについていくつか紹介します。対策方法もあわせて確認し、トラブルを未然に防ぎましょう。

CASE ①

インターネットで「気軽に始められる、誰でも簡単」と書かれた副業サイトに連絡しました。始めるには教材費が必要だがすぐにそれ以上稼ぐことができるといわれ、思わず登録してしまいました。

誰でも簡単
教材費だけで



アドバイス

▶当初は少額の教材費を支払わせて、さらに別名目の高額な費用を請求されることが多くなっています。もうけ話で、教材費、登録料、手数料を請求されたら、**きっぱりと断りましょう。**

CASE ②

突然電話がかかってきて、エビやカニなどの海産物の購入を勧められました。あまりの勢いで勧められて、思わず承諾してしまいました。



アドバイス

▶すぐに断りの電話を入れましょう。それでも商品が届いたら、受取りを拒否してください。もし受け取ってしまったら**クーリング・オフ**が可能です。



◀他にもさまざまな事例やその対策方法について、彦根市ホームページで紹介しています。

トラブル防止の5つの心得

- 一、 「今だけ」、「今日だけ」、「あなただけ」、**そんなうまい話はありません！**
- 二、 **見知らぬ人の親しげな接近や訪問に要注意！**身なりや態度に惑わされないで！
- 三、 家族の話や自分の預貯金、カード番号、生年月日など**プライバシーは明かさない！**
- 四、 必要なければ、**「いりません」ときっぱりと断る！**
- 五、 1 人で決めない！家族や身近な人、**消費生活センターに相談する！**

出前講座も行っています

消費生活センターでは、トラブルを未然に防ぐために、相談員による出前講座を行っています。

内容

- ・特殊詐欺やネット通販、迷惑メールなどでのトラブル被害について
- ・トラブルへの対処法、防止策について



▲申し込みは彦根市ホームページから

困ったら
相談を！

相談員
廣瀬

受講者の声

消費生活センターに相談すれば、解決につながると分かり、頼ることができると知った。

実際に彦根市であった事例を話してくれたのが分かりやすくよかった。



◀紙パネルやスライドショーを使って、進めています。



X (旧 Twitter) にて
▶リアルタイムでの情報発信
▶トラブルへの注意喚起を行っています。